流域治水プロジェクトについて

流域治水プロジェクト

気候変動による激甚化、頻発化する水災害に対して、河川管理者等の取組だけでなく、流域全体で実施すべき対策の全体像を示し、ハード・ソフトー体の<u>事前防災</u>対策を加速するためのプロジェクト。

全国の各河川で「流域治水プロジェクト」を公表

◆全国の一級水系を対象に、早急に実施すべき具体的な治水対策の 全体像を、都道府県や市町村と連携して検討し、国民にわかりやすく提示。

【イメージ】〇〇川流域治水プロジェクト

- ★戦後最大(昭和XX年)と同規模の洪水を安全に流す
- ★ …浸水範囲(昭和XX年洪水)

(対策メニューのイメージ)

■河川対策

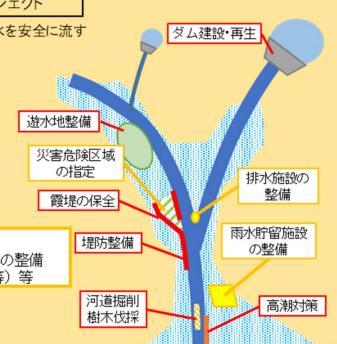
- 堤防整備、河道掘削
- ・ダム再生、遊水地整備 等

■流域対策(集水域と氾濫域)

- 下水道等の排水施設、雨水貯留施設の整備
- 土地利用規制•誘導(災害危険区域等)等

■ソフト対策

- ・水位計・監視カメラの設置
- ・マイ・タイムラインの作成 等



激甚な災害を 受けた河川

緊急治水対策プロジェクト

流域治水プロジェクトで取り組むメニューのうち、再度災害防止の観点から、5年から10年程度で実施するプロジェクトメニューを抽出し、速やかに着手

【緊急治水対策プロジェクトの事例】

「六角川水系緊急治水対策プロジェクト」

~国、県、市町村が連携し、逃げ遅れゼロと社会経済被害の最小化を目指す~

- 〇令和元年8月豪雨において甚大な被害が発生した、六角川水系における今後の治水対策を関係機関が連携し、<u>「六角川水系緊急</u> 治水対策プロジェクト」として取りまとめました。
- 〇国、県、市町等が連携し、以下の3つの取り組みを実施していくことで、概ね5年間で「逃げ遅れゼロ」、「社会経済被害の最小化」を目指します。
 - ①被害の軽減に向けた治水対策の推進【河川における対策】②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進【流域における対策】
 - ③減災に向けた更なる取り組みの推進【まちづくり、ソフト施策】

①被害の軽減に向けた治水対策の推進 【河川における対策】約418億円

- 六角川水系牛津川では、これまでの観測 史上最高水位を更新する大きな洪水が発 生し、堤防からの越水が複数発生するな ど、治水施設の限界を超えるような事象 が発生
- →被害の軽減に向けた治水対策を加速化し 推進を図る。



佐賀県多久市内における浸水被害状況

<主な取組メニュー>

- 被災施設等の迅速な復旧
- 河川水位を低下させるための取組
 - ・遊水地等の洪水調整施設の整備
 - ・洪水が円滑に流れやすい河道整備の推進
- 施設規模を上回る洪水に対する取組
 - ・危機管理型ハード対策
- 既存施設を活用した洪水被害軽減対策
 - ・堰、排水機場等の遠隔操作化、樋管等の無動 カ化
- 河道・管理施設等の適切な維持管理

②地域が連携した浸水被害軽減対策の推進 【流域における対策】

- 有明海に注ぐ、六角川水系は大きな干満差 と低平地の佐賀平野の地形特性により、こ れまでも度々支川の氾濫被害を被ってきた。
- →国、県、市町等が連携して浸水被害の軽減対 策について検討し、取組を進める。



佐賀県小城市内における浸水被害状況

<主な取組メニュー>

- 支川の流出抑制・氾濫抑制の取組
 - ・ため池等既存施設の有効活用
 - ・クリークを活用した雨水貯留容量の確保
 - ・雨水貯留施設、透水性舗装の整備等
- 既存排水機場の耐水化の取組
 - ・排水機場の耐水化の推進
- 浸水被害を軽減する取組
 - ・排水機場等の整備
- "逃げ遅れゼロ"へ向けた情報発信システム等の整備

③減災に向けた更なる取り組みの推進 【まちづくり、ソフト施策】

- 堤防からの越水や支川の氾濫などによる 様々な浸水形態により、各住民が適切な避 難準備、避難行動等を的確に取ることが困 難であった。
- →住まい方の工夫と、きめ細やかな情報提供 等を国、県、市町等が連携し実施することに より、「減災」の取組を推進する。



佐賀県大町町内における浸水被害状況

<主な取組メニュー>

- 住まい方の工夫に関する取組
 - ・「まちづくり」による水害に強い地域への誘導
 - ・住まい方の誘導による水害に強い地域づくりの 推進
- 災害の危険度が伝わるきめ細やかな情報発信の取組
- 防災教育や防災知識の普及に関する取組
- 要配慮者利用施設の避難に関する取組の推進
- 大規模災害時における迅速な復旧支援の取組

【緊急治水対策プロジェクトの事例】 六角川水系緊急治水対策プロジェクト【位置図】

